

県不動産市況

地価動向DI 7.0ポイント改善

4月時点全エリアで良化傾向

県宅地建物取引業協会と県不動産鑑定士協会がまとめた県不動産市況調査(2017年4月1日時点)によると、半年前と比べた地価動向に対する会員の実感を表すDI指数はマイナス13.1で、前回調査(16年10月1日時点)より7.0ポイント改善した。エリア別でも5地域すべてで改善しており、全エリアで改善傾向にあることを示した。

(鈴木隆宏)

エリア別では、岐阜 で5.0ポイント、西濃で14 ・4ポイント、中濃で7.2 ポイント、東濃で12.0ポ ンポイント、飛騨で4.0ポ ンポイントそれぞれ	半年後の予測値はマ イナス9.8で、引き 続き改善を予想。エリ ア別では全エリアで改	善を見込んでおり、岐 阜で10.2ポイント、西濃で 7.6ポイント、中濃で10. 5ポイント、東濃で4.7ポ ンポイント、飛騨で6.4ポ ンポイントの改善	不動産取引件数の動 向では、土地が8.2 ポイント改善のマイナス4. 0、中古住宅が1.4
---	---	--	--

改善のマイナス8.9。一方、新築戸建ては1.0ポイント悪化の12.8、新築マンションが2.6ポイント悪化のマイナス25.0、中古マンションが2.4ポイント悪化のマイナス19.8だった。回答者からは「優良住宅用地に対するニーズは堅調」「中古マンション、新築ローコスト一戸建て住宅の売れ行きが好調」などの声が聞かれた。調査は県宅地建物取引業協会の会員1141社に郵送によるアンケートで実施。回収率は31.7%で、362社が回答した。